

5月の学校経営方針

【ゴールを描く】…「取り組みのねらいを意識し、ゴールの具体をイメージしよう！」

4月は、それぞれの立場、分掌で目標を設定した。その目標に迫るために選択した手段が、具体的な絵としてイメージ化できないと、それに迫ることはなかなか難しい。なぜなら取り組んだ後でその結果と設定した目標とのズレが把握できないからである。

全ての取り組みには意味がある。何のためにそれをやっているのか、どうしてそうしなければならないのか、そのねらいや意図を意識しないと取り組みそのものが目的になってしまうことがある。改善のための手段はいくらでも考えられる。ひとつのやり方が上手くいかないからと言って、あきらめたらそこで終わりである。必要なのは、「何のため」にやっているのかという意図である。手段はその後に決めて、取り組めばよいのである。

今月から、今年度の「経営の重点」について具体的に取り組んでいきたい。特に以下の重点を意識し、変化（成長）をつくり出したい。

「白山ブランド」の構築のために

(1) 授業改革（主体的・対話的で深い学び）…改善ではない本気の改革である！

○ **明確な学習課題の設定、学習形態の工夫、振り返りの確保**

- ・原則として「？」で課題を設定し、問題解決を図る。
- ・一人で考える、ペアやグループで考える、全体で思考する場を設定する。
- ・「何がわかったか？」「何ができたか？」という問いでメタ認知を作る。

(2) 心の教育（道徳、いじめ、生命、思いやり）…道徳科として取り組む！

- 「考え議論する道徳」のねらいに迫る主発問の吟味！
- 基礎的環境整備、合理的配慮を視野に入れた指導計画の作成！

(3) 安全安心（健康・体力向上、メンタル、防災、食育）…指標を設定する！

- 運動能力章受章者数の目標値の設定と体力向上のための具体策の構築！
- 校内適応教室の設置と運営及び欠席3日/月の報告と長欠対策会議の開催！
- 「いじめゼロ」への挑戦のための実態把握！

(4) 生徒主体（行事、生徒会、部活）…放任でも管理でもない生徒主体の活動！

- 各行事等の再考と「白山ブランド」化への挑戦！
- 生徒会活動、委員会活動における主体的な組織運営の推進！

(5) 三大伝統（挨拶、歌声、清掃）…可視化された具体的な取り組み推進！

○ **「明るく元気な挨拶」→オプション付きの「笑顔の挨拶」づくり！**

- ・ オプション付きの「笑顔の挨拶」とは？をイメージ化する。
- ・ 全職員による生徒会の取り組みに対する支援。

- 「美しく響く歌声」→校内に響く「歌声」の日常化！
- 「心を磨く清掃」→心を動かすような真剣な清掃のイメージ化！

今月は少なくとも**「授業改革」と「挨拶」について変化を創り出したい**。生徒による「授業評価」、教職員による「自己評価」等で**70%以上の肯定的な評価**が出るようにしたい。

変わったという実感がその集団の成長であり、個々の成長となる。何かを目指し、取り組んだとき何も変わらないということはない。「全然よくなっていないから無駄！」という声も聞かれることがある。でもそれはフォーカスしている先が「できていない」ところなのである。変化したところを見取る力をみんなで身につけていきたい。